

第1回外来ケモ研修会

さいたま赤十字病院 薬剤部

外来がん治療認定薬剤師 後藤孝之

2020/7/10

抗がん剤治療情報提供書

2020年7月6日

ID 000000000 患者氏名 日赤良子

① 実施しているレジメ(レジメ登録 No. レジメ名)

レジメ登録 No. 003-3 EC 徒歩

② レジメの実施状況

2~1次目 (4コース予定 ジーサク併用)

③ 抗悪性腫瘍薬の投与量

体表面積 1.5m²→ビルベリン 135 mg シクロホスファミド 900 mg

④ 4コースまでの主要副作用(治療中の発現状況) CTCAE v5.0:該当する箇所に△チェックされます。

血清・生化学検査結果は専門の方々を参照してください。

有効事象	なし	グレード1	グレード2	グレード3
恶心(吐気)	□	食事時に影響ない 程度以下。	明らかに体重減少(4kg 程度以上)や脱水症(1L) 等が見られる。	食事量や飲食量が十分で ない。入院して点滴治療等 が必要である。
嘔吐	□	症状自体、経過とともに 事態不可能。	外来での点滴治療や内服 治療が必須である。	入院して点滴治療等が必 要である。
口腔炎歯周炎 (口内炎)	■	症状が軽く、経過をみる 事態可能。	痛みや潰瘍がある。食事 内容に合わせて必要な 食事がある。食事は我慢。	痛みがあり、食事が取れ ない。
味覚異常	■	食事内容の多少ない味 覚変化がある。	不適な味や味覚が異なる 等で食事内容に合わせて 必要な食事がある。	横線を引く必要がある。
便秘	■	時々便秘になり、 下剤服用を要する。	毎日利便を要する。 日常生活に影響はない。	毎日利便を要する。 日常生活に影響がある。
下痢	■	普段と比べて排便回数 が日々3回の範囲内で 増えた。	毎日4~6回と増える。日常生活に 影響はない。	毎日4~6回と増える。 日常生活に影響がある。
倦怠感	■	軽いだるさがある。	中程度の度の倦怠感があるが、 日常生活に影響はない。	強いただらさがあり、日常生活に 影響がある。
関節痛	■	軽い痛みがある。	中程度の度の痛みがあるが、 日常生活に影響はない。	強い痛みがあり、日常生活に 影響がある。
筋肉痛	■	軽い痛みがある。	中程度の度の痛みがあるが、 日常生活に影響はない。	強い痛みがあり、日常生活に 影響がある。
末梢性感觉 ニールオーダー (手足のしびれ)	■ (手足のしびれ)	軽いしびれがある。日常生活に影響がない。	中程度の度のしびれがあり、日常生活に影響はない。	強いしびれがあり、日常生活に影響がある。

上線のグレード3、症状が該グレードに該当する場合や38度の発熱が該場合は即座に連絡して下さい。

⑤ その他 医療・疾患管理に必要な事項

グレード2の嗜好が1日あつたため、本日以前から剝製剤としてオランザイン 5mg錠が追加されています。眠気が出るがあります。

利尿方法は吐瀉ホールページ内の地域医療連携薬-薬-連携→抗がん剤治療情報提供書を受取られた院外剥製剤薬局の方々へあります。

※院外剥製剤薬局の方へ 上記の内容をご確認の上、地方衛生・薬業指導にご用意ください。

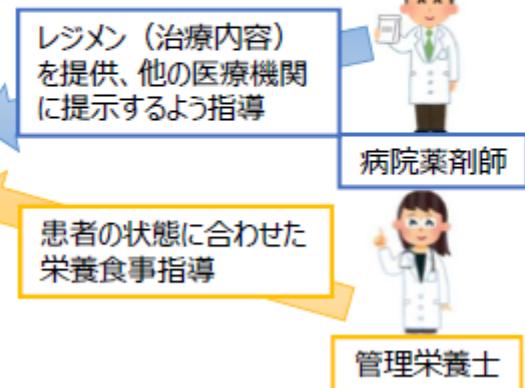
利用方法は吐瀉ホールページ内の地域医療連携薬-薬-連携→抗がん剤治療情報提供書を受取られた院外剥製剤薬局の方々へあります。

お問い合わせ 十字病院 薬剤科 直島昌子

当院では7月から連携充実加算を算定予定です。

外来がん化学療法の質向上のための総合的な取組

医療機関



薬局



レジメン情報等に基づく服薬指導、医療機関へ必要な情報をフィードバック

質の高い外来がん化学療法の評価

(新) 連携充実加算 150点(月1回)

- 患者にレジメン(治療内容)を提供し、患者の状態を踏まえた必要な指導を行うとともに、地域の薬局薬剤師を対象とした研修会の実施等の連携体制を整備している場合の評価を新設。

外来栄養食事指導料の評価の見直し

- 外来化学療法の患者は、副作用による体調不良等により、栄養食事指導を計画的に実施することができないことから、患者個々の状況に合わせたきめ細やかな栄養管理が継続的に実施できるよう、**外来栄養食事指導料について、要件を見直す。**

薬局でのレジメンを活用した薬学的管理等の評価

(新) 特定薬剤管理指導加算2 100点(月1回)

以下の取組を評価

- 患者のレジメン等を把握した上で必要な服薬指導を実施
- 次回の診療時までの患者の状況を確認し、その結果を医療機関に情報提供

質の高い外来がん化学療法の評価

- ▶ 患者にレジメン(治療内容)を提供し、患者の状態を踏まえた必要な指導を行うとともに、地域の薬局薬剤師を対象とした研修会の実施等の連携体制を整備している場合の評価を新設する

外来化学療法加算1(抗悪性腫瘍剤を注射した場合)

(新) 連携充実加算

150点(月1回)



[算定要件]

- (1) 化学療法の経験を有する医師又は化学療法に係る調剤の経験を有する薬剤師が、抗悪性腫瘍剤等の副作用の発現状況を評価するとともに、副作用の発現状況を記載した治療計画等の文書を患者に交付すること。

※ 患者に交付する文書には、①実施しているレジメン、②レジメンの実施状況、③抗悪性腫瘍剤等の投与量、④主な副作用の発現状況、⑤その他医学・薬学的管理上必要な事項が記載されていること。

- (2) 療養のため必要な栄養の指導を実施する場合には、管理栄養士と連携を図ること。

[施設基準]

- (1) 外来化学療法加算1に規定するレジメンに係る委員会に管理栄養士が参加していること。

- (2) 地域の保険薬局等との連携体制として、次に掲げる体制が整備されていること。

ア 当該保険医療機関で実施される化学療法のレジメンをホームページ等で閲覧できるようにしておくこと。

イ 当該保険医療機関において地域の薬局薬剤師等を対象とした研修会等を年1回以上実施すること。

ウ 保険薬局等からのレジメンに関する黒会等に応じて体制を整備すること。また、当該体制について、ホームページや研修会等で周知すること。

- (3) 外来化学療法を実施している医療機関に5年以上勤務し、栄養管理(悪性腫瘍患者に対するものを含む。)に係る3年以上の経験を有する専任の常勤管理栄養士が勤務していること。

薬局における対人業務の評価の充実 ②

がん患者に対する薬局での薬学的管理等の評価

- 薬局が患者のレジメン(治療内容)等を把握した上で必要な服薬指導を行い、次回の診療時までの患者の状況を確認し、その結果を医療機関に情報提供した場合について新たな評価を行う。

(新) 薬剤服用歴管理指導料 特定薬剤管理指導加算2 100点(月1回まで)

[対象患者]

連携充実加算を届け出ている保険医療機関で抗悪性腫瘍剤を注射された患者であって、当該保険薬局で抗悪性腫瘍剤や制吐剤等の支持療法に係る薬剤の調剤を受ける患者

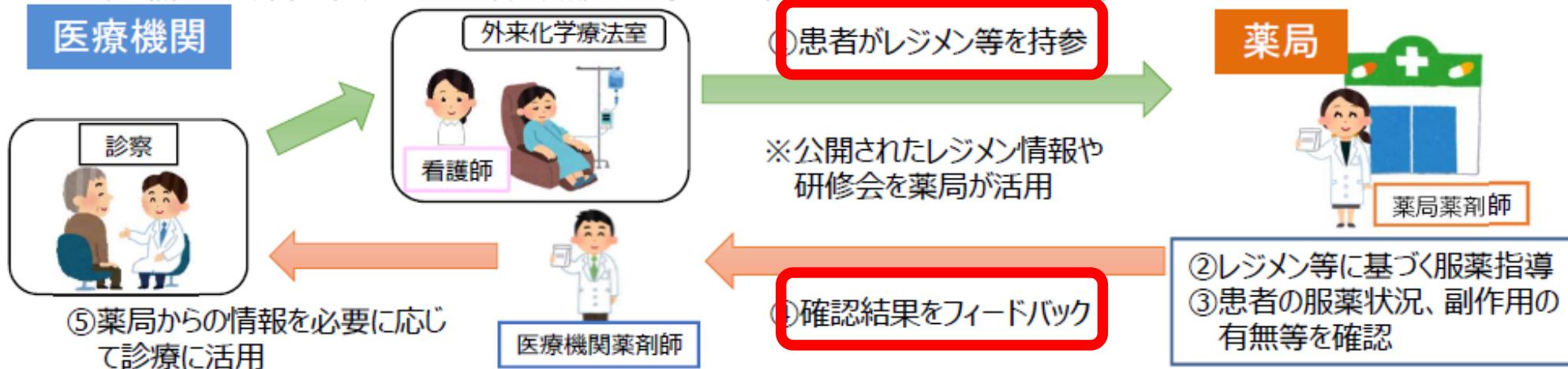
[算定要件]

①レジメン(治療内容)等を確認し、必要な薬学的管理及び指導を行うとともに、②電話等により、抗悪性腫瘍剤及び制吐剤等の支持療法に係る薬剤に関し、服用状況や副作用の有無等を患者等に確認し、③その結果を踏まえ、当該保険医療機関に必要な情報を文書により提供した場合に算定する。

[施設基準]

- パーテーション等で区切られた独立したカウンターを有するなど、患者のプライバシーに配慮していること。
- 保険医療機関が実施する抗悪性腫瘍剤の化学療法に係る研修会に年1回以上参加していること。

※ 経過措置として、令和2年9月30日までの間は、研修会への参加の基準は満たしているものとして取り扱う。



抗がん剤治療情報提供書の利用①

①実施しているレジメ（レジメ登録No レジメ名）

レジメ登録No 033-3 EC療法

レジメは当院ホームページ⇒
薬薬連携⇒『抗がん剤治療情報提
供書を受け取られた院外調剤薬局
の方々へ』にあります。

②レジメの実施状況

2コース目

今回のレジメのコースが記載されます。

③抗悪性腫瘍薬等の投与量

体表面積 $1.5\text{m}^2 \Rightarrow$ エピルベシン135mg シクロホスファミド900mg

抗がん剤治療情報提供書の利用②

④前コースでの主な有害事象（副作用）の発現状況（CTCAE v5.0）

有害事象	該当なし	グレード1	グレード2	グレード3
悪心（吐き気）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 食事量に影響のない食欲低下がある。	■ 明らかな体重減少（1kg程度以上）や脱水はない。食事量は減少する。	<input type="checkbox"/> 食事量や飲水量が十分でない。入院して点滴治療等が必要である

前コース（この場合は1コース目）ではグレード2の悪心がありました。

抗がん剤治療情報提供書の利用③

⑤その他 医学・薬学的管理上必要な事項

グレード2の嘔吐が1日あったため、本日睡前から制吐剤としてオランザピン5mg錠が追加されています。眠気が出る事があります。

前コースでの有害事象（副作用）を考慮し、医師が対応した内容等が記載されます。

当院へのフィードバックの方法

FAX番号 048-852-1157 さいたま赤十字病院 薬剤部

院外処方せんに関する患者情報提供書 (薬剤師一覧表)

患者の薬に関する情報です。

次回の受診日前までに、この用紙を担当医に連絡する。

または、該当患者上の電子カルテ上に保管して下さい。

さいたま赤十字病院 診療科名 空

薬局名 (所在地) TEL・FAX

保険薬剤師名

下記の事項に該当する箇所に印をつける。

電話による疑義照会済の事項 後発医薬品への変更

疑義照会簡素化の合意書による事項 残葉確認状況

抗がん剤治療情報提供書の関連事項 その他



『抗がん剤治療情報提供書の関連事項』に印をお願いします。

当院のレジメ446個ありますが...



レジメ登録No 000-050
レジメ登録No 051-100
レジメ登録No 101-150
レジメ登録No 151-200
レジメ登録No 201-250
レジメ登録No 251-300
レジメ登録No 300-350
レジメ登録No 351-400
レジメ登録No 401-450



これから外来でよく実施されている
レジメを紹介します。

当院の外来ケモ件数（1位から10位）

- ① 皮下ベルケイド〈多発性骨髓腫〉（レジメ登録No 337-2）547件
- ② 3Wハーセプチン〈乳腺〉（レジメ登録No 000-2）430件
- ③ EC〈乳腺〉（レジメ登録No 033-3）342件
- ④ キイトルーダ〈肺〉（レジメ登録No 365）257件
- ⑤ パージェタ+ハーセプチン〈乳腺〉（レジメ登録No 304-9）248件
- ⑥ XELOX〈大腸〉（レジメ登録No 213-1）232件
- ⑦ DOC〈乳腺〉（レジメ登録No 034-1）226件
- ⑧ アブラキサン+ゲムシタビン〈膵臓〉（レジメ登録No 318-1）223件
- ⑨ アバスチン+タキソール〈乳腺〉（レジメ登録No 261）211件
- ⑩ Wタキソール+3Wハーセプチン〈乳腺〉（レジメ登録No 35-3）198件

*赤字のレジメは外来ケモで指導する頻度が高いです。

乳腺外科の
レジメが
多いです。

当院の外来ケモ件数（11位から20位）

- ⑪ オプジー^ボ〈肺〉（レジメ登録No 335）188件
- ⑫ mFOLFOX6+アバスチン〈大腸〉（レジメ登録No 278-2）141件
- ⑬ カドサイラ〈乳腺〉（レジメ登録No 309）124件
- ⑭ サイラムザ+タキソール〈胃〉（レジメ登録No 328）121件
- ⑮ ゲムシタビン+シスプラチ^ン〈胆道〉（レジメ登録No 271-1）115件
- ⑯ 皮下アザシチジン〈骨髄異形成症候群〉（レジメ登録No 339-1）113件
- ⑰ mFOLFOX6〈大腸〉（レジメ登録No 278-1）108件
- ⑱ カルセド〈肺〉（レジメ登録No 153）106件
- ⑲ パージエタ+ハーセプチ^ン+DOC〈乳腺〉（レジメ登録No 295-2）100件
- ⑳ SOX〈胃〉（レジメ登録No 319）86件

*赤字のレジメは外来ケモで指導する頻度が高いです。

抗がん剤治療情報提供書の患者層は？

①外来でレジメン変更して1コース目の患者

ex. 乳腺外科EC⇒**DOC**、HP + DOC⇒**EC**等

外来で初回指導しています

外来で初回指導しています

②（入院して1コース目を導入して）外来で2コース目の患者

* 上記①②は院外処方せんがある患者を対象とする

指導時に使用している冊子等

抗がん剤治療を
受けられる方へ
【EC療法】



さいたま赤十字病院

抗がん剤治療を
受けられる方へ

【パージェタ+ハーセプチノ+ドセタキセル療法】



さいたま赤十字病院

メーカー作成の
パンフレットも
使用しています

学習するなら...

- ▶ レジメの学習

⇒日本臨床腫瘍学会監修 がん化学療法レジメンハンドブック 羊土社

- ▶ がん治療の学習

⇒金岡祐次 吉村知哲監修 がん必須ポイント じほう